

中東講座報告書

去る7月25日(月)、第32回「中東講座」をホテル グランドアーク半蔵門にて開催。本講座は、日本企業の中東ビジネスをご担当されて、比較的経験の浅い若手・中堅社員の方々、また、中東についてご関心・ご興味をお持ちの方々を対象に、「中東を深く理解する」機会をご提供することを目的として毎年開催し、今回は、116名の参加を得た。

毎回、中東地域の政治・経済/ビジネス・エネルギー問題、中東と日本の文化比較といった内容を分かりやすく解説して頂いているが、今回は、昨今の中東地域情勢を反映し、参加者のご関心の高いと思われる治安情勢を特に取り上げ、それぞれの専門家をお招きして、下記の通り、各講師にご講演頂いた。

「政治」については、放送大学高橋教授より「新しい列強の時代」と題し、2013年以降のシリア問題に対する米国・ロシア・中国の政策・関与、またサウジアラビア・イラン・トルコといった地域大国のシリアに対する立場の観点から現下の中東政治情勢をご講義頂いた。

「経済・ビジネス」については、(株)三井物産戦略研究所 シニア研究フェロー大橋様より、「石油価格低迷下の中東経済 見通しとビジネスポイント」と題し、中東のビジネス環境を主な経済・エネルギー指標のみならず政治・人口・言語分布といった社会的観点から説明され、さらに地域の資源大国であるサウジアラビアにおける新体制下における経済政策、イランにおける制裁解除後の経済動向および日本と経済的結びつきの深い GCC 諸国の経済政策の課題についてご説明頂いた。

「セキュリティ」については、国際政治アナリスト菅原様より「中東の治安情勢と個人で出来るテロ対策」と題し、IS(イスラム国)のテロの脅威と拡散、昨今のテロの具体的事例および過去の事例から学ぶテロ回避のためにとりうる対策・対応について解説頂いた。

「エネルギー」については、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構調査部首席エコノミスト野神様より「世界のエネルギーをめぐる情勢」と題し、石油・天然ガスの世界的需給動向、石油ガス価格の変遷、近年の大幅な油価変動をもたらした要因およびエネルギー資源(石油・ガス・石炭)の日本における位置付け等に関し、豊富な統計データを交え、詳説頂いた。

最後に、「文化」については、著述家である師岡カリーマ・エルサムニー様より、「変わりゆくアラブ文化の風景」と題するご講演を頂き、映像・音声・ご自身によるアラビア語による朗読を交え、アラブ文化の中核である「詩」の歴史的変遷に焦点を当てつつ、エジプトの生んだアラブで最も知名度が高く、愛された歌手ウナム・クルスムの歌、洗練されたアラビア書道および映画芸術に言及されつつ、アラブ文化を概観された。また、長らくエジプトがアラブ文化の発信の中心であったが、近年、衛星放送の発展と共に、アラブ各国に拡散、移りつつあるとの見方を披露された。

<結果>

- ・受講者のアンケート結果では、非常に高い評価をいただいた。「中東について多面的な理解につながる良いプログラムであった」「テーマのバランス、講義の質や量とも充実した内容だった」「中東に対する見方が変わった」等、満足度が伝わるコメントが多数寄せられた。
- ・賛助会員企業ならびに関連企業・団体を始め、中東に広く関心を持つ方々へ、中東地域の話題をタイムリーにご提供することができた。



高橋講師 「新しい列強の時代」



大橋講師 「石油価格低迷下の中東経済 見通しとビジネスポイント」



菅原講師 「中東の治安情勢と個人で出来るテロ対策」



野神講師 「世界のエネルギーをめぐる情勢」



師岡カリーマ講師 「変わりゆくアラブ文化の風景」



会場 ホテルグランドアーク半蔵門・富士（東）全景